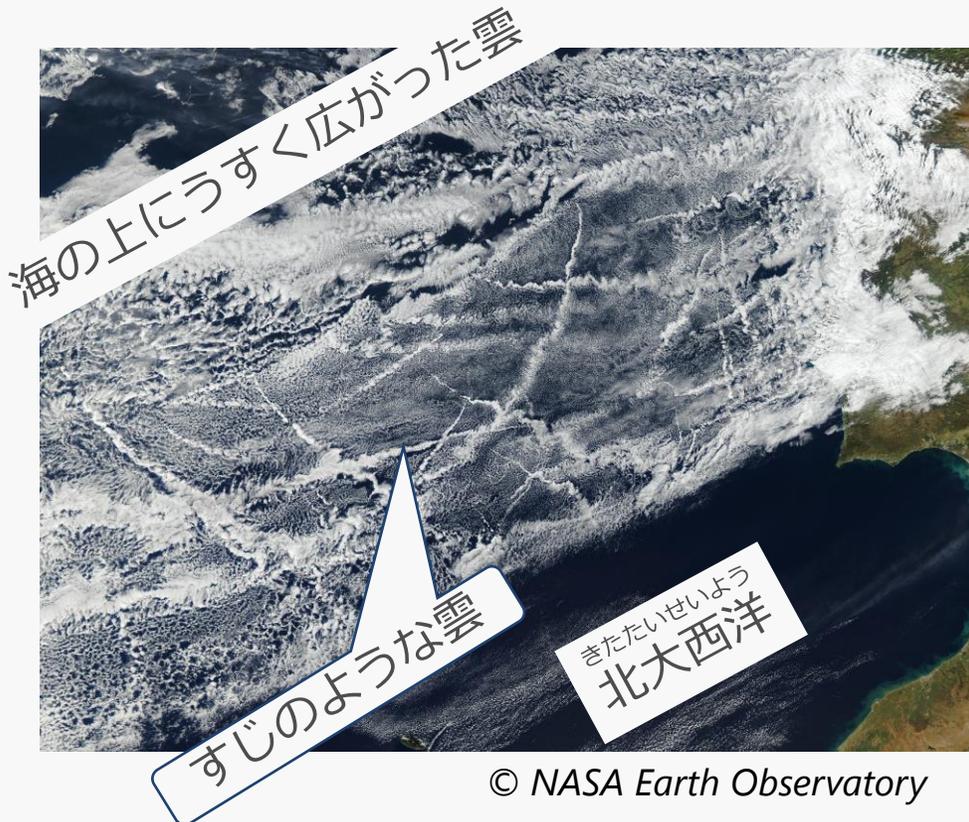


# ペットボトルで雲を作ってみよう

空に浮かぶ雲。じぶんのうちでも作れたら楽しいだろうな。そう思ったことはありませんか？  
じつは、雲のできるしくみをまねすることで、だれでも自分だけの雲を作ることができるのです。

おうちにある、空のペットボトルで実験してみよう！



まず、自然を観察してみよう。  
この写真は、暖かい海の上に広がった雲を、宇宙から撮影したもの。やかんから出た湯気は、白く見えるよね。あれと同じように、暖かい海の上には、たっぷりの水蒸気があって、それが冷えて固まることで、雲ができるよ。すじのような雲は、船がとおったあとに残った”空気中のちり(エアロゾル)”が雲を作りやすくしているからなんだ。

# 用意するもの



空気をぱっと広げるとき、ぬるま湯から出た水蒸気が冷えて固まって雲になるんだ。線香のけむりは、ペットボトルの中の空気の“ちり”だよ。氷を入れてみたり、へこませる強さを変えたり、線香のけむりを入れなかったり。わざと方法を変えてみて、ちがいを比べてみるのも面白そうだね！



2. フタを閉じて、ペットボトルを、ゆっくり押してへこませる。

3. ぱっと力をゆるめてふくらませる。これを何度かくり返す。ペットボトルがふくらむときに雲ができて、ちぢんだときは、雲が消えて見えなくなるね！

1. ぬるま湯を3cmぐらい入れて  
中を線香のけむりで満たす。  
(5秒間ぐらいが目安)

※ **ライターは危ないから、必ず大人の人と一緒に実験しよう**



なるべく強くへこませておくと、うまく雲を作れるみたい。今回は足でふんでみたよ。